

令和7年度第1回 監査機関同士の意見交換 概要

1 開催日時

令和7年6月5日（木）午前11時30分から12時00分まで

2 場所

（公財）東京都スポーツ文化事業団事務局共用会議室

3 出席者

- ・監事 中山 正雄、飯塚 幸子
- ・EY 新日本有限責任監査法人 業務執行社員 小野寺 勝 ほか
- ・デフリンピック準備運営本部監査室 塩田 孝一 ほか

4 概要

監査室から「令和7年度内部監査の状況について」及び「大会時の監査について（案）」等について説明し、三者で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・大会時の監査については、監事としては、業務監査の視点から、大会運営の視察を兼ねながら監査を行いたい。特に、デフリンピックスクエアについては、各競技施設からの情報等が集約される運営本部機能を持つことから、大会時の監査対象とする必要がある。
- ・大会時の監査については、監査法人は、今後、法定監査となった場合は会計監査人として内部統制を評価する立場となるため、どのようなプロセスで業務に対するコントロールを行っているかの評価の観点から、必要な場合には視察を行いたい。
- ・大会期間中の現金管理や事故対応等については、事前のマニュアルの整備とともに、大会時にルールに基づいた運用ができているか、監査の視点で確認することが必要である。
- ・協賛のうち、役務提供や協賛物品等については、具体的な役務内容の実績や提供物品の納品等に関する検収や実績報告等の把握が必要である。また、デフリンピック準備運営本部から受注実績のある企業からの協賛については、協賛に至る経緯等について、接触記録等により確認する必要がある。

意見交換の結果、

- ・本日いただいた御意見はデフリンピック準備運営本部内で共有し、今後の内部監査等に反映していく。
- ・各監査において気づきや懸念点等があれば共有する。
- ・次回の意見交換は来年3月頃に実施予定などを申し合わせた。